

公立能登総合病院	
住所	石川県七尾市藤橋町ア部6番地4
連絡先	tel:0767-52-6611(代表)
URL	https://www.noto-hospital.nanao.ishikawa.jp/
病床機能	高度急性期、急性期、地域包括ケア、精神
病床数	434床(一般：330床、感染：4床、精神：100床)
施設認定	ホームページ参照
勤務体系	8：30～17：15 当直あり
報酬（給料）	条例等に基づき支給
薬剤師人数	11人
専門資格 (人数)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師/1名</li> <li>・日本栄養治療学会 NST(栄養サポートチーム)専門療法士/1名</li> <li>・日本アンチドーピング機構 スポーツファーマシスト/1名</li> <li>・腎臓病療養指導士四団体合同認定委員会 腎臓病療養指導士/1名</li> </ul>
特色	<p>当院の薬剤師は、能登地域の医療を薬物療法の面からサポートしています。医師・看護師・その他の医療スタッフとともにチーム医療の一員として、調剤・製剤、注射薬調剤、服薬説明、薬歴管理、医薬品情報管理、医薬品安全管理、医薬品供給・品質管理、治験等に専門的に取り組んでいます。調剤や注射業務では自動散薬・錠剤分包機、一包化錠剤監査支援装置及び自動アンプル払出し機や散薬監査システムを導入し、処方監査を充実させて調剤過誤を起こしにくくしています。化学療法ではレジメン登録された抗がん薬の無菌調整を行っています。服薬説明や薬歴管理では服薬指導システムを導入し、患者さまの服薬アドヒアランス向上につなげています。学会・研修会等への参加をはじめ、認定・専門薬剤師等を目指しています。</p>
職員 インタビュー	<p><b>【6年目の薬剤師】</b>  入職後、調剤業務を一通り身につけ、一人で当直できるようにします。最初は、私も不安でした。しかし、困ったことや不明な点があれば、勉強熱心な先輩方が、優しく丁寧に教えてくださるので、できるようになりました。  1年目の秋頃から、病棟業務が始まります。病棟では、まず患者さんの持参薬を鑑別します。持参薬は、その方の服薬状況を把握する大事な作業です。そこで服薬アドヒアランスが悪いと判断された場合は、どうすれば継続して大事なお薬を飲んでもらえるのか考えます。患者さんが理解するまで指導することもあれば、家族や医療サービスの協力を得て新たな服薬方法を提案することもあります。また、医師や看護師などとも意見を交換し、退院後も患者さんが日常生活を送れる方法を真剣に模索しています。  令和6年能登半島地震・豪雨でたくさんの人々が家を失いました。退院しても避難所や仮設住宅などに戻られる方がいらっしゃいます。そのほか、通院や服薬、食生活がおろそかになり、入院される方もおいででした。能登は高齢者が多く、もともと医療を必要とする地域ではありましたが、災害によって必要性がさらに高まったと思います。  七尾に来て一緒に地域医療を支えませんか？</p> <p><b>【10年目の薬剤師】</b>  1年目からでも先輩方の指導の下、服薬指導などの病棟業務に、携わることができます。和気あいあいとした職場なので、わからないことや相談事も、先輩方に聞きやすく、丁寧に教えてもらえます。他の職員の方とも良好な関係を築くことができます。有給休暇や夏休みなどしっかりと休みをとれます。自分のやりたいことをやることができます。</p> <p><b>【10年目の薬剤師】</b>  9年間他病院で経験を積んだ後、地元への転居に伴い当院に入職しました。育児のための短時間勤務制度を利用しながら、仕事と育児を両立しています。他の職種の方々との距離も近くて仲が良く、雰囲気の良い職場だと思います。  現在は、調剤室で調剤業務や持参薬鑑別のほか医師・看護師からの問い合わせ対応、薬剤の血中濃度解析などを行っています。病院スタッフとしての院内研修や自分の興味のある分野の学会等への参加助成もあるので、日常業務に加えて更なるスキルアップを目指すことができます。  お気軽に薬剤部に見学にいらしてください！</p>

